

【情報公開文書】

地域メンタルヘルス実践型教育としての傾聴ボランティア活動の評価研究（2024 年度教育活動記録の二次利用研究）

1. 研究の対象

本研究の対象は、2024 年度に秋田大学「街ナカ傾聴ボランティア養成講座」を受講した学生です。

本講座は秋田大学に所属する学生に加えて、他大学の学生も参加しており、全参加学生の学びのプロセスや教育効果を横断的に評価することを目的としています。

研究協力は任意であり、所属大学を問わず、希望しない場合はいつでも提出資料を研究対象から除外することが可能です。

2. 研究目的・方法

本研究は、傾聴ボランティア活動を通じた学生の学びや成長を記録・評価することを目的としています。講義中のディスカッションノート、活動後の振り返り記録、修了レポートなど、講座内で提出された記録を用いて、教育的効果や改善点を明らかにします。

これらの記録には、氏名や学籍番号などの直接的に個人を特定できる情報は含まれていませんが、内容によっては記述者を推測できる可能性があります。なお、本研究では、講義担当者でもある研究責任者（ロザリン・ヨン）のみがこれらの情報を取扱い、分析を行います。

対象となる学生が不利益を被ることのないよう、個人を特定できないようにとプライバシーの保護には細心の注意を払います。

なお、本研究は講座の教育的効果の検証を目的としたものであり、参加・非参加は講座の成績、終了証の発行、今後の受講機会などに一切影響を及ぼすものではありません。

研究実施期間：研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：2025 年 10 月 15 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

講義内のディスカッションノート、活動後の振り返り記録、修了レポート等

4. オプトアウト（情報利用の拒否）およびお問い合わせ先

本研究は、記録提出するときに研究利用に関する口頭説明を行い、同意の意思を確認したうえで実施しています。

ただし、その後に研究利用を希望されない場合は、所属大学を問わず、いつでも下記連絡先までお申し出いただければ、その資料は研究対象から除外いたします（オプトアウト）。

この申し出により、受講上の不利益が生じることは一切ありません。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学大学院医学系研究科 地域心身医療学講座

担当者：助教 ヨン・ロザリン （研究責任者）

電話：018-884-6466

E-mail：roselineyong@med.akita-u.ac.jp

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則